



中野あきと

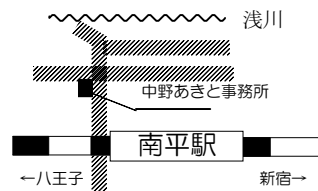
みどりと清流



https://midoritoseiryu.skr.jp

日本共産党市議会議員 中野あきと事務所ニユース
〒191-0041 日野市南平6-25-1 (南平ビル1階)
(電話・FAX 042-599-3350) 発行責任者 小山敏正

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



QRコード、アドレスをご利用になると、創刊号より検索できます

9月市議会の焦点

いま市政に求められているもの

市議会議員 中野あきと

1日から9月市議会が始まりました。昨年度の決算や市政運営を審査・検証し、どれだけ来年度予算や今後の市政運営に反映させることができるのか、市議会の真価が問われます。

共産党市議団は物価高騰の中、厳しい市民生活の実態を踏まえ、暮らし・子育て・公共交通・環境街づくりの課題で積極論戦し、市政の改革・刷新の展望を提案致します。

物価高騰から暮らしと営業を守り、子育て・教育、環境・公共交通政策の充実を

物価高騰が市民の生活を直撃しています。「住民福祉の増進」を最大の使命とする地方自治体の役割・真価が問われています。

この間、保育・学童クラブ、教育、農業、建設業等の関係団体の方々から様々な意見・要望を伺ってきました。また、ミニバス等の充実を求める声も寄せられています。

切実な市民のみなさんの声・要望を議会の場で提起、改善や実現を求めます。

「財政非常事態宣言」の解除、負担増ストップを

前年度の実質収支(決算剰余金は27億円で、実質収支比率も7・4%と総務省基準3・5%を大きく超え

る赤字率です。

貯金(財政調整基金)も大きく積み増し、過去最大の約60億円になりました。それでも日野市は「財政非常事態宣言」に固執、公共施設の使用料の値上げなど市民負担増を次々と押し進めようとしています。

日野市の財政について、その歴史的な分析とともに、国、東京都、多摩地域の26市の中での分析・評価を進め、「財政非常事態宣言」のごまかしを告発、市民負担増ストップを迫ります。

市政をめぐる不正、ムダ使いをただす

法令遵守、市民参加、公務・公共の再生を

日野市立病院、川辺堀之内区画整理組合、旧市立たかはた保育園の民営化、日野市企業公社を舞台にした河内久男元副市長をめぐる一連の不正・違法問題。さらには、市役所の

公共工事をめぐって発覚した官製談合問題。いずれも、市政・公務のあり方、税金の無駄な支出が問われる極めて深刻で重大な問題です。

150人の正規の公務員を削減し、非正規と民営化を強力に推進してきたこの25年に及ぶ市政のあり方を総括し、正規職員の増員、非正規職員の処遇改善等で市民のために働く市政、働きがいと働きやすい市役所への改革で公共を取り戻すことを提案します。

(2面につづく)

「ご意見・ご要望をお寄せください。決算委員会でも質問・提案を行います。」

9月2・3日

熊野神社の祭礼

4年ぶりに開催

(南平8丁目)



短信

釣り人も見られる浅川の清流。下水道が普及する以前は悪臭が漂う汚染された川だった▼1973

年、日野市は下水道終末処理施設を市の東部地域につくる計画を策定する。しかしここにはすでに、し尿処理施設や可燃ごみ焼却炉など、いわゆる迷惑施設があった▼東部地域は多摩川と浅川の合流地点に位置し市内で標高が最も低い。高低差を利用し下水を集結させるには、この地域にお願いせざるを得ない▼森田喜美男市長(当時)は地元住民と話し合いを繰り返した。そして同地域の環境を根本的に向上させる対策を公約。79年に同地域の区画整理事業と北川原公園計画を決定する▼違法なごみ搬入路が設置された北川原公園は、同地域のマイナスをカバーし、健全で快適な街づくりの要として計画されたものだった▼今年8月、市内8か所で行われたごみ搬入路の説明会が終わった。そこで出された意見も踏まえ、違法状態解消の検討が開始される▼説明会で配られた資料の一つに78年11月の「広報ひの」の「コピーがある。その中に「全市民の決意と合意を」という森田市長の一文があった▼「同じ市民の間に加害・被害の格差をつくらないために、東部地域に豊かな対策と感謝を持ってのぞむことこそ、理解を得る力ギとなる。大事業を達成する力は全市民の決意と合意を結ぶ真心である」と、全市民の協力を呼びかけている。心に残る一文だった。(K)

9月市議会の焦点

19日から21日までの3日間、一般会計の決算委員会が開かれます。

なお、現時点で質疑を予定している項目の一部を左記に紹介します。

- 生活保護利用の実態と申請権とワーカー不足の問題について
- 保育園の民営化方針の行き詰まりと市立保育園の役割について
- 都内で明らかになった、学童クラブの水増し請求不正問題が示していること。
- 急増する不登校問題。学校に突きつけられていること、フリースクール・オルタナティブ教育の充実と支援について。
- 学校図書館問題。2年間の3校における司書配置のモデル実施の結果と来年度の全校配置について。
- 農業問題。学校給食への地元産野菜活用課題と日野市における有機農業の課題と展望について
- これで良いのか自治会支援のあり方と見直し案。補助対象の見直しと誘導の仕組みは自治会に何をもたらすのか。
- 放課後デイサービス問題。相次ぐ閉鎖の動きを踏まえ、求められる市政の役割と支援。
- 公共交通問題。交通事業者との協議はどうなっているか、デマンド交通の導入へ向けた現状と今後の展望について。南平路線・北野街道沿いへのバス停設置問題。

[用語解説]

- フリースクール
不登校の小中高生が学校以外で学んだり友だちと過ごしたりできる居場所のこと。
- オルタナティブ
文科省が定めた学校外での教育のこと。

《日野の ちょっと昔 その16》

収穫の秋 田んぼは一面の稲架(はさ)

平山5丁目 浅川と京王線の間



写真は今から23年前、2000年10月14日に撮影したものです。平山5丁目の浅川土手の桜並木と京王線の間の風景で、稲の刈入れが終わり、田んぼ一面に稲を乾燥させる稲架(はさ)が並んでいます。

向こうの横長の高い建造物は平山通りの京王線をまたぐ「平山陸橋」で、ちょうど京王線の電車も走っています。写真にはありませんが右の奥150mくらいが平山城址公園駅になります。

ちょっと前まで日野市のほとんどの平地は田んぼで、日野は「江戸(東京)の穀倉」と言われていました。この田んぼの水は浅川の滝合橋の所から取水していました。今、ここはすっかり住宅地になり、所々に畑やビニールハウスがありますが、この写真の田んぼの風景はまったく想像すらできません。

中野あきとの <日野市政 ここに注目!>

日野市発達・教育支援センター「エール」

発達・教育支援センター「エール」の事業も、日野市ならではの積極的な取り組みの一つです。

0歳から18歳までの、発達面、行動面、学校生活面において、支援を必要とする子ども、子どもの育ちについて不安のある保護者、関係機関に対し、福祉分野と教育分野が一体となって切れ目のない支援、総合的な相談や支援を実施しています。保健師、心理士、言語聴覚士、作業療法士、社会福祉士、スクールソーシャルワーカーなど多様な専門家が相談・支援事業に取り組んでおり、当事者・保護者の方々をはじめ、保育園、幼稚園、学校関係者の方々からも評価されています。全国的にも先進的な取り組みとして注目され、市外・全国からの視察も受け入れています。

日野市では、1973年の時点で、日野市立希望の家が設置され、長年にわたり、発達に遅れや困難を抱える未就学児の療育の拠点として先進的な取り組みが進められてきました。

その後、施設の老朽化による再編の検討の中、2009年に相談、療育、移動支援の拠点として(仮称)発達支援センターの設置が打ち出され、2014年に発達支援センター「エール」の開設、教育部門との連携・統合で現在のセンターに至っています。

<この道50年 看護師・加代子の身体(からだ)のはなし>

〔その3〕 便秘にならないために

便秘で苦しんでいる方が多いのでは？

便秘にならないようにするには、「胃腸を活性化させる」ことです。それには十分な量の水と食べ物、中でも野菜を食べることです。野菜は「せいい」が多い土の中で育ったイモ類、ゴボウ、ニンジンなどが大事です。

排便が2日間無ければ、できたらお医者さんとも相談して薬で胃腸を動かすこと、そして出た便はバナナの太さかどうか確認し、出血の有無も大切です。常に太い便であれば、腸壁についている便を取り除き、腸が良く働き始めた証(あかし)なのです。

そのことで摂取した食べ物の栄養が身体となり、健康を維持し長生きできることになります。

[無料法律相談日] —2023年10月—

(お申込み) ☎042-582-1042

わたなべ三枝・清水とし子事務所

- 5日(木) 18:00~20:00 中野あきと事務所
 - 12日(木) 13:00~15:00 市役所6階共産党控室
- ◎法律相談以外のお困りごともお気軽に
中野あきと事務所 ☎042-599-3350

しんぶん
赤旗

日本共産党発行

■毎日お届けする日刊紙・◆月3497円

■週に一度の日曜版・・・◆月930円

一部売り、お試し購読も 中野あきと事務所